

大湯沼駐車場内トイレの建替

■ 現状と課題

登別温泉には、地獄谷・大湯沼などの爆裂火口跡、間欠泉の一つである大正地獄、大湯沼から溢れ出た湯が流れる「大湯沼川天然足湯」などの景勝地や、国の天然記念物である「登別原始林」の中に位置していることから貴重な植物が多く、これを観察するため、多くの観光客が遊歩道の散策を行っております。

当該遊歩道は、地獄谷から大湯沼、大正地獄、大湯沼川天然足湯まで整備されていることから、利用者の利便性を考え、平成4年に登別市が大湯沼の駐車場にトイレを整備しましたが、硫黄等による腐食や老朽化が激しく、利用に支障をきたしております。

また、近年、外国からの観光客の増加や旅行形態の変化により、トイレに求められるニーズが多様化しておりますので、外国人や高齢者、子供、障がいのある方なども安心して利用できるトイレの整備が必要不可欠となっております。

つきましては、利用者の利便性の向上のほか、年間300万人を超える観光地である登別温泉の満足度の向上及びリピーターを増やす観念も含め、整備を要望いたします。



■ 要望内容

- トイレの建替に伴う調査及び設計の実施
- 高齢者や子供、障がいのある方などすべての人が安心して利用できる多目的トイレの整備

■ 事業効果

- 老朽化したトイレの建替による景観の向上
- 多目的トイレの設置による利便性の向上
- 登別温泉の満足度の向上